

先天性眼瞼下垂症に対する大腿筋膜移植術の術後経過の検討

1. 研究の対象

当院にて眼瞼下垂の初回手術を行われ、大腿筋膜移植による手術を受けている方で術後の経過観察が可能である方

(研究責任医師が被験者として不適当と判断した方は除外します)

2. 研究目的・方法

先天性眼瞼下垂は眼瞼挙筋の欠損もしくは形成不全により生じる開瞼障害です。当院では先天性の眼瞼下垂に対して大腿筋膜移植による吊り上げ術を行っています。一般的に行われている術式ですが、長期短期経過についての報告は少なく、当院での手術症例を対象に長期短期経過症例に対する検討をおこない、術式の有用性、効果についての評価を行うことを目的とします。

方法：術前術後に行う視力検査結果で比較検討を行います。また、通常の診療で術前術後に定期的に撮影された写真を用い、重症度や術後結果の評価を決定します。その結果をもとに眼瞼下垂に対する手術の効果に関する評価を行います。

研究期間：倫理委員会承認後から当院治療中止まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病名、年齢、両眼の視力（術前・術後）、写真（術前・術後）等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

形成外科 今井 啓介

大阪市都島区都島本通 2-13-22

電話 06-6929-1221